

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

熊本県 宇土市

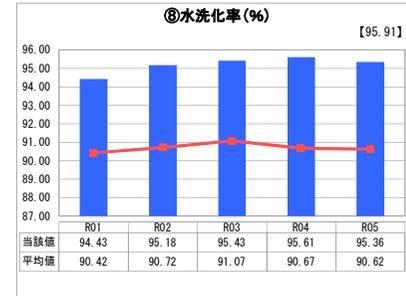
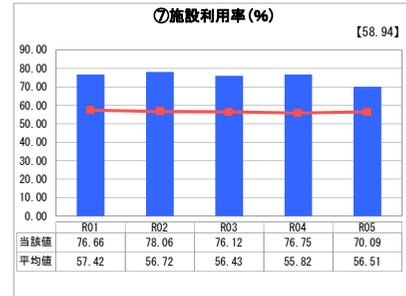
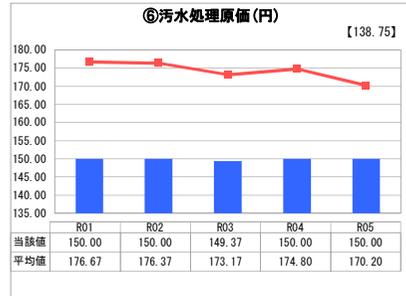
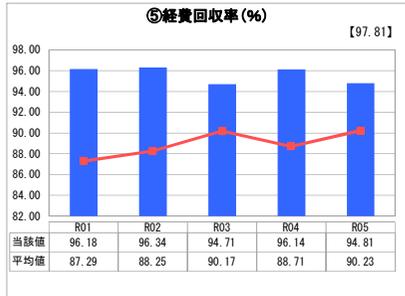
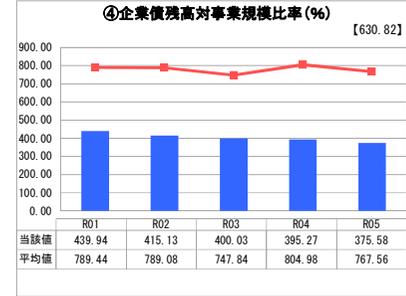
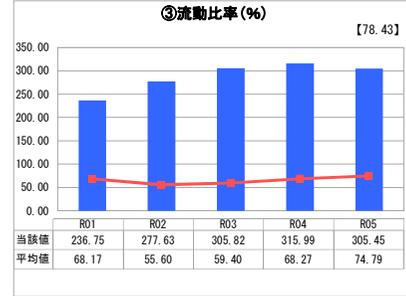
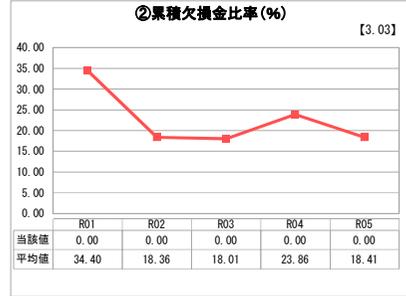
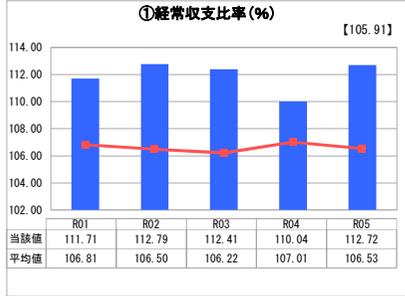
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	67.40	77.41	77.30	3,058

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36,371	74.30	489.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,075	8.04	3,491.92

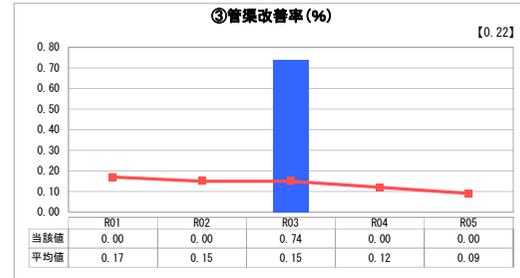
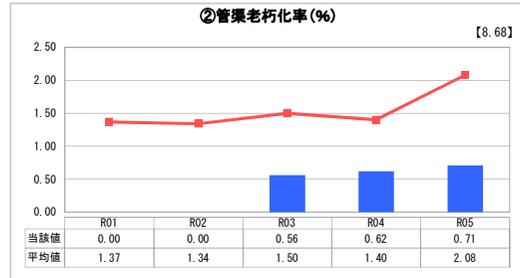
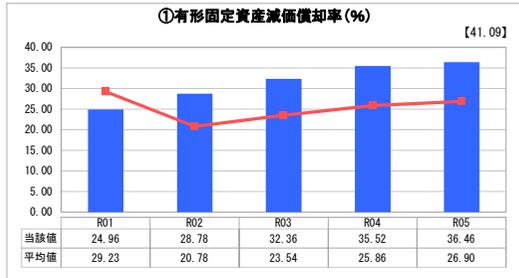
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っており、また、② 累積欠損金も発生していないことから、健全な経営を維持していると言える。

③ 流動比率は類似団体よりも非常に高い水準を維持し、現金は十分に確保されている状況である。また、④ 企業債残高対事業規模比率に類似団体より低い数値となっているが、今後、施設の老朽化に伴う更新等を予定しており企業債残高も増加していく見込みであるため、投資規模、料金水準とのバランスに留意していく。

⑤ 経費回収率は100%を下回っている。今後は人口減少による収入減や物価高騰による維持管理費等の増加が想定されることから、使用料の見直し等を視野に入れ、適正な使用料収入の確保を検討していく必要がある。

⑥ 汚水処理原価は類似団体より低い水準となっている。今後、施設の老朽化に伴う更新が必要であり、物価上昇による経費の増加が想定されるため、更新工事を行いながら維持管理費の削減に努めなければならない。

⑦ 施設利用率、⑧ 水洗化率とも類似団体より高い水準であるが、今後は人口減少に伴い低下することが見込まれるため、広域化等を検討していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は年々増加している。今後、更新時期を迎える管渠や施設があるため、建設改良費における積立金等を増加するよう努めたい。

② 管渠老朽化率は類似団体と比べて低い水準であるが、今後、更新時期を迎える管渠が増加することも予測されるため、管渠調査を行いながら計画的な管渠更新工事に努める。

③ 管渠改善率は0%であり、今後は、ストックマネジメント計画に基づいて計画的かつ効率的に進めていく。  
※令和3年度決算の数値は誤り(0%)

### 全体総括

本市の下水道事業は、類似団体と比べて比較的健全な運営がなされていると言えるが、一般会計からの繰入金など使用料以外の収入に頼っている状況もあり、一般会計に頼らない経営を目指すため、引き続き経費削減、収益上昇に努めていく。また、広域連携等の経営手法を検討し、効率的に事業を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。